

|       |  |
|-------|--|
| 教科の目標 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「わかる」「できる」喜びを感じることで国語学習への意欲を高め、自ら課題を見つけ、追求する態度を育てる。</li> <li>・国語科の3つの観点に関わる力を育てる。</li> </ul> |
| 評価の観点 | (知識及び技能)・社会生活に必要な知識や技能を身に付けることができる。学年相当の漢字や語彙を理解し、活用することができる。  |
|       | (思考力、判断力、表現力等)・自分の意志や考えをまとめ伝達することができる。相手と円滑なコミュニケーションを進めることができる。   |
|       | (主体的に学びに向かう態度)・適切に自分の考え・意見をまとめ、相手に伝えることができる。・語彙を豊かにし、適切に自己表現することができる。  |

| 時期 | 単元                     | 学習内容   | 観点                                    | 学習目標 (評価規準)  | 評価場面・方法   |
|----|------------------------|--|---------------------------------------|--|---|
| 4月 | 未来へ                    | ・時を表すさまざまな表現に注意して詩の意味を捉え、読み方を工夫して音読する。                         | 【思判表】<br>C(1)イ                        | ・詩に描かれた言葉の意味などについて考え、内容を解釈している。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・授業中の活動(態度、発表など)</li> <li>・提出物(ノート・課題など)</li> <li>・小テスト(漢字・文法など)</li> <li>・授業プリント・ワークシート</li> <li>・読み取り課題</li> <li>・表現課題(作文など)</li> <li>・スピーチ、発表</li> <li>・暗唱</li> <li>・作品制作</li> <li>・書写課題</li> </ul> など |
| 4月 | 手紙の効用                  | ・読み取ったことを踏まえ、自分の知識や体験も交えて、考えを広げる。                              | 【知技】(1)<br>エ<br>【思判表】<br>C(1)オ        | ・文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。   |   |
| 4月 | 短歌を楽しむ                 | ・情景や心情を表す語句に注意して、短歌を読み味わう。<br>・短歌の表現の工夫などを捉え、鑑賞したことをまとめる。      | 【知技】(1)<br>エ<br>【思判表】<br>C(1)イエ       | ・短歌に詠まれた情景や心情を想像して、内容を解釈している。<br>・短歌を比較するなどし、表現の効果について考えている。   |   |
| 5月 | 敬語                     | ・敬語の種類や使い方について理解する。  | 【知技】(1)<br>カ                          | ・敬語の種類や使い方について理解し、話や文章の中で使っている。  |   |
| 5月 | ハトはなぜ首を振って歩くのか         | ・まとまりどうしの関係に注意して文章の構成を捉え、内容を読み取る。<br>・文章と図表を結び付けて読み、図表の役割を考える。 | 【知技】(1)<br>エ(2)アイ<br>【思判表】<br>C(1)アイウ | ・進んでまとまりどうしの関係に注意しながら文章の構成を捉え、図や表の役割について話し合ったり、図を使って説明したりしようとしている。<br>・文章全体と部分との関係に注意しながら、考えと根拠との関係などを捉えている。文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈している。 |   |
| 5月 | 字のない葉書                 | ・登場人物の言葉や行動の意味を考えて、作品を読み味わう。<br>・作品から読み取ったことをもとに、自分の考えを深める。    | 【知技】(1)<br>エ<br>【思判表】<br>C(1)アイオ      | ・文章を読んで考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。<br>・登場人物の言葉や行動から読み取れる思いに注意して作品を読み味わう。  |   |
| 6月 | 考えを比べながら聞こう            | ・相手の考えとその根拠に注意して話を聞き、自分の考えと比べる。                                | 【知技】(2)<br>ア<br>【思判表】<br>A(1)エ        | ・「話すこと・聞くこと」において、論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。  |   |
| 6月 | 黄金の扇風機<br>サハラ砂漠の<br>茶会 | ・文章を読み比べて、論の進め方について考える。<br>・文章の内容について、自分の知識や体験と結び付けて考えを深める。    | 【知技】(1)<br>エ, (2)ア<br>【思判表】<br>C(1)エオ | ・観点を明確にして文章を比較し、文章の構成や論理の展開について考えている。<br>・文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。  |   |
| 6月 | 文法                     | ・動詞、形容詞、形容動詞の特徴を理解し活用できるようにする。                                 | 【知技】(1)<br>オ                          | ・動詞、形容詞、形容動詞それぞれの特徴と活用の仕方について理解を深める。   |   |
| 6月 | 話し言葉と書き言葉              | ・話し言葉と書き言葉の特徴について理解する。   | 【知技】(1)<br>イ                          | ・話し言葉と書き言葉の特徴について理解している。   |   |
| 7月 | 形の似た漢字                 | ・形の似た漢字に注意して、漢字を文や文章の中で使う。                                     | 【知技】(1)<br>ウ                          | ・形の似た漢字について理解し、漢字を文や文章の中で使っている。  |   |
| 7月 | 漢字の意味                  | ・漢字の意味を理解して、漢字を文や文章の中で使う。                                      | 【知技】(1)<br>ウ                          | ・漢字の意味を理解し、漢字を文や文章の中で使っている。  |   |
| 7月 | 枕草子・徒然草                | ・筆者のものの見方や考え方、表現の仕方を捉える。<br>・見聞きしたことや体験したことをもとに、表現を工夫して随筆を書く。  | 【知技】(3)<br>イ<br>【思判表】<br>B(1)ウ, C(1)エ | ・現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を理解している。  |   |

|     |                            |   |   |  |
|-----|----------------------------|---|---|--|
| 7月  | 辞書に描かれたもの                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>登場人物の言葉や行動の意味を考えて、作品を読み味わう。</li> <li>作品から読み取ったことをもとに、自分の考えを深める。</li> </ul>   | <b>【知技】</b> (1) エ<br><b>【思判表】</b> C(1)アイオ         | <ul style="list-style-type: none"> <li>登場人物の言動の意味などについて考え、内容を解釈している。</li> </ul>  |
| 7月  | 書写 仮名                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>行書に調和する仮名の特徴を理解しながら書く。</li> </ul>  | <b>【知技】</b> (3) ウ                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>仮名の特徴を意識しながら筆使いを確かめ、毛筆で「いろは歌」を書く。</li> </ul>  |
| 8月  | 卒業ホームラン                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>登場人物の言葉や行動がどんな意味を持っているかに注意して、作品を読み味わう。</li> <li>登場人物のものの見方や考え方について、自分の考えを持つ。</li> <li>読書の意義を知り、おすすめの本の魅力を紹介し合う。</li> </ul> | <b>【知技】</b> (3) エ<br><b>【思判表】</b> C(1)オ           | <ul style="list-style-type: none"> <li>本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。</li> <li>文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。</li> </ul>   |
| 8月  | 説得力のある提案をしようプレゼンテーション      | <ul style="list-style-type: none"> <li>聞き手に納得してもらうために、説得力のある話の構成を考える。</li> <li>資料や機器を活用して、分かりやすく印象的に話す。</li> </ul>  | <b>【知技】</b> (1) アオ, (2) アイ<br><b>【思判表】</b> A(1)イウ | <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫している。</li> <li>資料や機器を用いるなどして、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫している。</li> </ul>   |
| 9月  | 根拠を吟味して書こう一意見文             | <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えが伝わる文章になるよう、根拠の適切さについて吟味する。</li> <li>文章の構成を工夫し、分かりやすく説得力のある意見文を書く。</li> </ul>   | <b>【知技】</b> (1) オ, (2) ア<br><b>【思判表】</b> B(1)イウ   | <ul style="list-style-type: none"> <li>伝えたいことが分かりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。</li> <li>根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えるなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。</li> <li>根拠を吟味したり構成を工夫したりすることに粘り強く取り組み、学習の見通しを持って、分かりやすく説得力のある意見文を書こうとしている。</li> </ul> |
| 9月  | 平家物語                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>表現の特徴に注意して朗読し、古典の世界に親しむ。</li> <li>描かれた状況や心情を読み取り、武士の価値観や生き方について考える。</li> </ul>   | <b>【知技】</b> (3) アイ<br><b>【思判表】</b> C(1)オ          | <ul style="list-style-type: none"> <li>作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。</li> <li>「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。</li> </ul>   |
| 10月 | 鯉節——世界に誇る伝統食               | <ul style="list-style-type: none"> <li>読書の意義を知り、目的に応じて情報を集め、レポートにまとめる。</li> </ul>   | <b>【知技】</b> (3) エ<br><b>【思判表】</b> C(1)イ           | <ul style="list-style-type: none"> <li>本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。</li> <li>目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈している。</li> </ul>   |
| 10月 | 郷土のよさを伝えよう「地域の魅力」の紹介文      | <ul style="list-style-type: none"> <li>身近な地域の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを絞り込む。</li> <li>読み手を意識しながら、表現の効果などを確かめて、文章を推敲する。</li> </ul>                           | <b>【知技】</b> (1) アオ<br><b>【思判表】</b> B(1)アエ         | <ul style="list-style-type: none"> <li>目的や意図に応じて、身近な地域の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。</li> <li>読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えている。</li> </ul>  |
| 10月 | 同訓異字                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>同訓異字を理解し、適切に使い分ける。</li> </ul>  | <b>【知技】</b> (1) ウエ                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>同訓異字について理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> </ul>   |
| 10月 | 同音異義語                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>同音異義語について理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。</li> </ul>   | <b>【知技】</b> (1) ウエ                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>同音異義語について理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> </ul>  |
| 11月 | 話し合いで問題を検討しようリンクアップによる話し合い | <ul style="list-style-type: none"> <li>多様な立場や意見を想定して、テーマについてのメリット・デメリットを出し合う。</li> <li>お互いの立場や意見を尊重しながら話し合い、結論を出す。</li> </ul>                                     | <b>【知技】</b> (2) アイ<br><b>【思判表】</b> A(1)アオ         | <ul style="list-style-type: none"> <li>目的に応じて社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。</li> <li>お互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。</li> </ul>   |
| 11月 | 漢詩                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>表現の特徴に注意して朗読し、漢詩を味わう。</li> <li>情景を描いた表現の効果について考える。</li> </ul>  | <b>【知技】</b> (3) ア<br><b>【思判表】</b> C(1)エ           | <ul style="list-style-type: none"> <li>進んで漢詩を朗読し、学習課題に沿って、情景を描いた表現の効果について話し合おうとしている。</li> <li>作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。</li> <li>観点を明確にして漢詩を比較するなどし、漢詩の</li> </ul>  |

|     |                |  |  |   |
|-----|----------------|--|--|---|
|     |                |  |  | 構成や表現の効果について考えている。  |
| 12月 | 助詞・助動詞         | ・助詞・助動詞の種類や働きについて理解する。   | 【知技】(1)<br>オ                             | ・助詞の働き、助動詞の種類や意味について理解している。   |
| 12月 | 落葉松            | ・詩に描かれた情景や心情を捉え、リズムを感じ取りながら朗読する。                               | 【思判表】<br>C(1)ア                           | ・詩全体と部分との関係に注意しながら、場面の設定の仕方などを捉えている。  |
| 12月 | 書写 行書          | ・点画を省略するときの筆使いを理解する。   | 【知技】(3)<br>ウ                             | ・楷書と行書を比較して点画の省略、筆順の変化を知り、行書では点画を省略して書くことがあることを理解する。<br>・点画を省略や筆順の変化により、行書は楷書より早く書けることを理解する。<br>・目的に応じて楷書または行書を選んで書く。           |
| 1月  | 類義語・対義語        | ・類義語や対義語について理解する。  | 【知技】(1)<br>エ                             | ・類義語と対義語について理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。  |
| 1月  | 「正しい」言葉は信じられるか | ・文章を読んで、事実の述べ方が読み手に与える印象の違いについて考える。<br>・構成や表現を工夫して、新聞記事を書き換える。 | 【知技】(1)<br>エ<br>【思判表】<br>B(1)エ,<br>C(1)エ | ・読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えている。<br>・観点を明確にして文章を比較し、文章の構成や表現の効果について考えている。   |
| 2月  | わたしが一番きれいだったとき | ・心情が読み取れる言葉に注意して詩を読む。<br>・詩に表れているものの見方や考え方について、感想を持つ。          | 【思判表】<br>C(1)イオ                          | ・進んで詩に込められた思いについて考え、学習課題に沿って感想を話し合おうとしている。<br>・人物の言動の意味などについて考え、内容を解釈している。<br>・詩を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。 |
| 2月  | 走れメロス          | ・人物像を捉え、人物の言動について考えながら、作品を読み深める。<br>・場面の展開や表現の効果について考える。       | 【知技】(1)<br>エ<br>【思判表】<br>C(1)アイ<br>エ     | ・文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方などを捉えている。<br>・文章の構成や表現の効果について考えている。   |
| 3月  | 坊っちゃん          | ・文学作品を読み、登場人物の考え<br>文学作品を読み、登場人物の行動や人柄、考え方について考えを深める。          | 【知技】(3)<br>エ<br>【思判表】<br>C(1)オ           | ・本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。<br>・文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。              |

2024年度 2年生 年間指導計画 【社会】

|       |   |
|-------|---|
| 教科の目標 | <p>【地理的分野】</p> <p>社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを目指す。</p> <p>【歴史的分野】</p> <p>社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを目指す。</p>   |
| 評価の観点 | <p>① (知識・技能)</p> <p>我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事象や地域的特色を理解しているとともに、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p> <p>我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p> <p>② (思考・判断・表現)</p> <p>地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。</p> <p>歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。</p> <p>③ (主体的に学びに向かう態度)</p> <p>日本や世界の地域に関わる諸事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p> <p>歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p> |
| 評価資料  | 定期テスト、授業プリント、提出物など  |

| 配当月           | 単元                                    | 学習内容  | 学習目標 (評価基準)  | 評価場面・方法                            |
|---------------|---------------------------------------|---|--|------------------------------------|
| 4月<br>～<br>6月 | 武家<br>政権<br>の展<br>開と<br>世界<br>の動<br>き | 幕藩体制の始まり<br>朱印船貿易から貿易統制へ<br>四つにしばられた貿易の窓口<br>琉球王国とアイヌの人々への支配<br>身分制の下での暮らし<br><br>安定する社会と諸産業の発達<br>幕府政治の改革<br>各地を結ぶ陸の道・海の道<br>上方で栄えた町人の文化<br><br>貨幣経済の広まり<br>繰り返される要求と改革<br>江戸時代の庶民が担った化政文化 | <p>①江戸幕府の成立や、大名の配置と武家諸法度の制定、参勤交代などによる大名の統制を基に、幕府と藩による支配が確立したことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を効果的に調べ、まとめている。</p> <p>②江戸幕府が貿易の統制を強化した理由を、キリスト教の禁止と貿易の独占という視点から考察し、事象を相互に関連付けるなどして、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③独自の文化や交易の特色を持つ琉球王国とアイヌの人々の社会が、江戸時代にどのように変化してきたかに着目し、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p> <p>①兵農分離がさらに進み身分制が確立するなか、産業や交通が発達し、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を効果的に調べ、まとめている。</p> <p>②諸産業が発達した理由や、上方の町人を中心に元禄文化が広がった理由を、事象を相互に関連付けるなどして、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③江戸時代の交通・金融・小売業などの発達や、この時代に定着した行事や生活習慣が現代社会とつながっていることについて、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p> <p>①商品作物と貨幣経済の広まりに伴う経済格差の発生と民衆の動き、幕府の改革、新しい学問・思想の動きなどを基に、幕府の政治がしだいに行き詰まりを見せたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を効果的に調べ、まとめている。</p> <p>②幕府が繰り返した改革を行わなければならなかった理由と、江戸の庶民を中心とする文化が栄えた理由について、貨幣経済の広まりと幕府政治の行き詰まりとの関わりに着目して考察し、事象を相互に関連付けるなどして、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> | <p>・提出物</p> <p>・定期考査</p> <p>など</p> |

|        |          |  |  |                     |
|--------|----------|--|--|---------------------|
|        |          |  | ③新しい学問の発達や教育機関の広がり近代の教育の土台となったことに気づき、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。   |                     |
| 7月～12月 | 日本の地域的特色 | 山がちな日本の地形<br>川が作る地形と海岸や海洋の特色<br>日本の気候<br>日本の人口<br>日本の資源・エネルギー<br>日本の農林水産業<br>日本の工業<br>日本の商業など  | ①日本の地域的特色を、自然環境や人口、資源・エネルギー、産業、交通・通信の視点から、写真、図版、地図、雨温図など、さまざまな資料を適切に選択して読み取り、理解している。<br>②日本の自然環境や人口、資源・エネルギー、産業、交通・通信などの地域的特色が、どのように変化し、どのような課題を抱えているのか、多面的・多角的に考察し、表現している。<br>③自然災害への対応や人口減少に伴う少子高齢化など、身近な地域や生活との関わりに着目して、日本の地域的な課題について、主体的に追究しようとしている。   | ・提出物<br>・定期考査<br>など |
|        | 日本の諸地域   | 九州地方<br>・自然環境<br>・人々の生活<br>・農業<br>・産業<br><br>中国・四国地方<br>・自然環境<br>・交通と人々の生活の変化<br>・工業<br>・農業<br><br>近畿地方<br>・自然環境<br>・京阪神大都市圏<br>・阪神工業地帯と環境問題<br>・古都、京都・奈良<br><br>中部地方<br>・自然環境<br>・中京工業地帯<br>・東海の産業<br>・中央高地・北陸の産業<br><br>関東地方<br>・自然環境<br>・東京大都市圏<br>・臨海部から内陸部へ<br>・大都市周辺と過疎問題<br><br>東北地方<br>・自然環境 | ①九州地方の地形や気候などの自然環境に関する特色を理解し、九州地方の自然環境を生かした産業や、防災の取り組みについて、さまざまな情報を調べ、まとめている。<br>②九州地方において、特色ある人々の生活や産業が成立する背景を、自然環境や、大陸・国内との結び付き、地域の課題などと有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。<br>③九州地方について、よりよい社会の実現を視野に、自然環境と生活、産業との関わりについての課題を主体的に追究しようとしている。<br><br>①地図や資料から、中国・四国地方の交通・通信網による結び付きの変化と、それに関連する産業や生活の変化について理解している。<br>②中国・四国地方の結び付きの変化や産業の変容について、人や物の移動の量や方向、人々の工夫などと有機的に関連付けて、多面的・多角的に考察し、表現している。<br>③中国・四国地方について、よりよい社会の実現を視野に、交通・通信網の整備に伴う産業の発展や地域の活性化に向けた努力などについて、主体的に追究しようとしている。<br><br>①地図や資料を活用し、近畿地方の自然環境や歴史的景観の保全および、関連するほかの事象を読み取る技能を身に付け、近畿地方の地域的特色を理解している。<br>②自然環境や歴史的景観の保全に関わる取り組みを、人口の分布や住民の生活および産業の変化などと関連付けながら、原因と対策、効果の面から多面的・多角的に考察し、表現している。<br>③近畿地方について、よりよい社会の実現を視野に、自然環境や歴史的景観の保全の視点からみた人々の生活や産業の特色を、主体的に追究しようとしている。<br><br>①さまざまな資料を活用し、中部地方の三つの地域の産業の特色と変化を読み取るとともに、それぞれの自然環境の特色から異なる産業が発達したことを理解している。<br>②中部地方の三つの地域において、それぞれ異なる産業が発達・変化した背景について、多面的・多角的に考察し、表現している。<br>③産業の視点からみた中部地方の特色について、自然環境の課題の克服に関する人々の工夫・努力に関心をもちながら、主体的に追究しようとしている。<br><br>①関東地方の自然環境や産業の特色を、人口の集中との関わりに着目し、地図や統計、分布図などから読み取るとともに、人口の集中と都市圏の拡大に伴う課題を理解している。<br>②関東地方に人口が集中する理由を、第3次産業の発達のほか、他地域や海外との結び付き、自然環境の特色などに着目し、多面的・多角的に考察し、表現している。<br>③関東地方について、よりよい社会の実現を視野に、人口の集中の視点からみた人々の生活や産業などの地域的特色を主体的に追究している。<br><br>①地図や写真などから、東北地方の自然環境や文化などの特色、産業の変化を読み取り、地域的特色や課題について理解している。 | ・提出物<br>・定期考査<br>など |

|       |              |   |  |   |
|-------|--------------|---|--|---|
|       |              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統行事と生活</li> <li>・農業</li> <li>・工業の発展人々の生活の変化</li> </ul> <p>北海道地方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境</li> <li>・農産業</li> <li>・観光業</li> </ul>  | <p>②東北地方の人々の生活や文化、産業の発達と、自然環境や交通網の広がりはどのように関わっているのか、多面的・多角的に考察している。</p> <p>③東北地方について、よりよい社会の実現を視野に、自然環境や交通網の整備の視点から地域的特色を主体的に追究している。</p> <p>①北海道地方の冷涼な気候の特色を理解し、厳しい自然環境のなかで暮らす人々の生活の工夫や、自然環境を生かして発展させてきた産業の特色を理解している。</p> <p>②冷涼な自然環境の影響を受ける人々の生活や産業の特色を、他地域との結び付きや厳しい自然環境を克服するための工夫などと関連付けて多面的・多角的に考察している。</p> <p>③北海道地方について、よりよい社会の実現を視野に、冷涼な自然環境を生かした人々の生活や産業の特色や工夫に関心をもち、主体的に追究しようとしている。</p>   |   |
| 1月～3月 | 近代国家の歩みと国際社会 | <p>欧米諸国における「近代化」</p> <p>市民革命の始まり</p> <p>人権思想からフランス革命へ</p> <p>産業革命と資本主義の成立</p> <p>欧米諸国の近代国家建設</p> <p>世界を目指す欧米諸国</p> <p>開国と幕府の終わり</p> <p>日本を取り巻く世界情勢の変化</p> <p>諸藩の改革と幕府の衰退</p> <p>黒船来航の衝撃と開国</p> <p>江戸幕府の滅亡</p> <p>新政府による改革</p> <p>富国強兵を目指して</p> <p>文明開化と新政府の政策</p> <p>近代国家への歩み</p> <p>新たな外交と国境の画定</p> <p>沖縄・北海道と「近代化」の波</p> <p>自由と民権を求めて</p> <p>帝国憲法の成果と課題</p> | <p>①市民革命と産業革命を経た欧米諸国の世界進出、社会主義の登場の背景や植民地への影響を理解しているとともに、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を効果的に調べ、まとめている。</p> <p>②工業化の進展とそれに伴う政治や社会の変化に着目して、近代化により欧米諸国の政治や社会がどのように変化したか考察し、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③欧米諸国における近代化と市民社会の成立について、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p> <p>①欧米諸国のアジア進出に対する清の動きと、日本の開国と貿易の拡大による政治的・経済的・社会的な影響を理解しているとともに、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を効果的に調べ、まとめている。</p> <p>②工業化の進展とそれに伴う政治や社会の変化に着目して、欧米諸国の東アジアへの進出が日本の政治や社会に与えた影響を考察し、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③欧米諸国における「近代化」の進展と東アジア諸国の動きについて、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p> <p>①富国強兵や殖産興業の政策、文明開化の風潮などを基に、明治維新によって近代国家の基礎が整えられ、人々の生活が大きく変化したことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を効果的に調べ、まとめている。</p> <p>②明治政府の諸改革の目的に着目して、諸改革が社会や人々の生活に与えた影響について、また、近世の政治や社会との違いに着目して、近世から近代への転換の様子について考察し、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③明治維新と近代国家の形成について、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p> <p>①新政府が岩倉使節団の派遣や国境の画定などの新たな外交を進め、やがて自由民権運動の広がりを背景に大日本帝国憲法が制定されたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を効果的に調べ、まとめている。</p> <p>②大日本帝国憲法と帝国議会の成立過程に着目して、外国との関係や現代の政治とのつながりを考察し、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③議会政治の始まりについて、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・提出物</li> <li>・定期考査</li> </ul> <p>など</p> |

2024年度 2年生 年間指導計画 【数学】

|                       |   |
|-----------------------|---|
| 教科<br>の<br>目<br>標     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・数量、図形などに関する基礎的な概念や原理・法則の理解を深め、数学的な表現や処理の仕方を習得する。</li> <li>・事象を数理的に考察する能力を高めるとともに、数学的活動の楽しさ、数学的な見方や考え方のよさを知り、それらを進んで活用する態度を育てる。</li> </ul> |
| 評<br>価<br>の<br>観<br>点 | <b>知識・技能</b><br>数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則などについて理解し、知識を習得している。また、事象を数量や図形などで数学的に表現し処理する技能を習得している。  |
|                       | <b>思考・判断・表現</b><br>事象を数学的にとらえて論理的に課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力などを身に着けている。   |
|                       | <b>主体的に学習に取り組む態度</b><br>数学的な事象に関心をもつとともに、数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、粘り強い取り組みを行おうとしている側面がある。また、粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとする側面がある。   |

| 時期           | 単元       | 学習内容            | 学習目標   | 評価   |
|--------------|----------|-----------------|--|--|
| 4月<br><br>5月 | 1章 式の計算  | 1節 式の計算         | 単項式と多項式、次数の意味を理解する。<br>同類項の意味を理解し、同類項をまとめる計算や、多項式の加法や減法の計算、多項式と数の乗法や除法の計算ができる。<br>単項式どうしの乗法や除法の計算、乗法と除法の混じった計算ができる。また、式の値をくふうして求めることができる。  | 授業姿勢<br>授業ノート<br>問題集<br>定期考査<br>整理テスト<br>演習プリント<br>まとめ学習<br>など |
|              |          | 2節 文字式の利用       | 数の性質が成り立つことを、文字を使って説明することができる。<br>目的に応じて等式を変形することの必要性を理解して、ある文字について解くことができる。   |  |
| 6月           | 2章 連立方程式 | 1節 連立方程式とその解き方  | 2元1次方程式とその解の意味、連立方程式とその解の意味を理解する。<br>連立方程式では、1つの文字を消去して1次方程式をつくれれば解けることを理解する。<br>加減法、代入法を理解し、それを用いて連立方程式を解くことができる。<br>かっこをふくむ連立方程式や、係数に小数や分数をふくむ連立方程式、 $A=B=C$ の形をした連立方程式を解くことができる。  |  |
|              |          | 2節 連立方程式の利用     | 個数と代金に関する問題を、連立方程式を利用して解決することができる。<br>速さ・時間・道のりに関する問題を、連立方程式を利用して解決することができる。<br>割合に関する問題を、連立方程式を利用して解決することができる。  |  |
| 7月           | 3章 1次関数  | 1節 1次関数         | ともなう変わる2つの数量の関係を式で表すことができるとともに、1次関数の意味を理解する。   |  |
|              |          | 2節 1次関数の性質と調べ方  | 1次関数 $y = ax + b$ では、変化の割合は一定で、 $a$ に等しいことを理解する。<br>1次関数のグラフは、その式をみたす点の集合で、1つの直線であることを理解する。<br>1次関数のグラフの切片と傾きの意味を理解する。<br>1次関数のグラフを、切片と傾きをもとにかくことができる。<br>グラフの傾きと切片を読みとって、1次関数の式を求めることができる。<br>グラフの傾きと通る1点から、1次関数の式を求めることができる。<br>グラフが通る2点から、1次関数の式を求めることができる。 |  |
| 8月           | 3章 1次関数  | 3節 2元1次方程式と1次関数 | 2元1次方程式のグラフは、その解を座標とする点の集合で、式を変形してできる1次関数のグラフになっていることを理解する。<br>2元1次方程式のグラフをかくことができる。<br>2元1次方程式 $ax + by = c$ で、 $a = 0$ や $b = 0$ の場合のグラフの特徴を理解し、グラフをかくことができる。<br>連立方程式の解が、2つの2元1次方程式のグラフの交点の座標であることを理解し、連立方程式の解をグラフをかいて求めたり、2直線の交点の座標を連立方程式を解いて求めたりすることができる。 |  |
| 9月           |          | 4節 1次関数の利用      | 具体的な事象の中の2つの数量の間の関係を1次関数とみなして、問題を解決することができる。<br>具体的な事象の中の2つの数量の間の関係を1次関数とみなして、そのグラフを利用して問題を解決することができる。<br>図形の辺上を動く点によってできる図形の面積の変化を、1次関数の式やグラフで表すことができる。   |  |
| 10月          |          |                 |  |  |

|     |            |               |   |  |
|-----|------------|---------------|---|--|
| 10月 | 4章 平行と合同   | 1節 説明のしくみ     | n 角形の内角の和の求め方を、もとにしていることがらを明らかにして説明することができる。<br>n 角形の外角の和の求め方を、もとにしていることがらを明らかにして説明することができる。  | 授業姿勢<br>授業ノート<br>問題集<br>定期考査<br>整理テスト<br>演習プリント<br>まとめ学習<br>など |
|     |            | 2節 平行線と角      | 対頂角の意味を理解し、対頂角は等しいことを、論理的に筋道を立てて説明することができる。<br>同位角、錯角の意味を理解し、平行線と錯角の関係を、論理的に筋道を立てて説明することができる。<br>三角形の内角の和が $180^\circ$ であることを、論理的に筋道を立てて説明することができる。   |  |
|     |            | 3節 合同な図形      | 平面図形の合同の意味と合同な図形の性質を理解する。<br>三角形の合同条件を理解し、2つの三角形が合同かどうかを、三角形の合同条件を使って判断することができる。<br>ことがらの仮定と結論の意味を理解する。<br>根拠となることがらを明らかにして、簡単な図形の性質を証明することができる。  |  |
| 11月 | 5章 三角形と四角形 | 1節 三角形        | 二等辺三角形の底角の性質を証明することができる。<br>二等辺三角形の頂角の二等分線の性質を見いだすことができる。また、正三角形の性質を証明することができる。<br>二等辺三角形になるための条件を論理的に確かめることができる。また、二等辺三角形になるための条件を利用して、図形の性質を証明することができる。<br>ことがらの逆と反例の意味を理解する。<br>直角三角形の合同条件を、三角形の合同条件をもとにして考え、説明することができる。<br>直角三角形の合同条件を利用して、図形の性質を証明することができる。  |  |
|     |            | 2節 平行四辺形      | 平行四辺形の定義と性質を理解し、平行四辺形の性質を証明することができる。<br>平行四辺形の性質を利用して、図形の性質を証明することができる。<br>平行四辺形になるための条件を利用して図形の性質を証明したり、その証明を振り返って統合的・発展的に考えたりすることができる。<br>長方形、ひし形、正方形の定義やそれらと平行四辺形との相互関係を理解する。<br>長方形やひし形の対角線の性質を証明することができる。また、その逆が正しくないことを反例をあげて示すことができる。<br>既習の内容を活用して、図形の性質を見いだし証明したり、問題の条件を変えて統合的・発展的に考えたりすることができる。<br>平行線の性質を利用して、図形を等積変形することができる。 |  |
| 12月 | 6章 確率      | 1節 確率         | 多数回の実験の結果をもとにして、あたりやすさの傾向を読みとり、説明することができる。<br>多数回の試行によって得られる確率と関連づけて、場合の数をもとにして得られる確率の必要性和意味及び確率の求め方を理解する。<br>起こりうる場合を、樹形図や表を使って全部あげ、確率を求めることができる。<br>起こりうる場合の組み合わせを考えて、確率を求めることができる。<br>起こりうる場合を2次元の表に整理し、確率を求めることができる。<br>あることがらの起こらない確率の求め方を理解し、その確率を求めることができる。  |  |
|     |            | 2節 確率による説明    | 身のまわりの事象の起こりやすさを、確率をもとにして考え、説明することができる。   |  |
| 1月  | 7章 データの比較  | 1節 四分位範囲と箱ひげ図 | 複数のデータの分布の傾向を比較するとき、ヒストグラムでは比較しにくいことを知る。<br>箱ひげ図と四分位範囲の意味を理解し、データを整理して箱ひげ図に表すことができる。また、箱ひげ図と四分位範囲の特徴を理解する。<br>四分位範囲や箱ひげ図を用いてデータの分布の傾向を比較して読みとり、批判的に考察し判断することができる。   |  |
| 2月  |            | 2月            | 2月  |  |
| 3月  |            |               |   |  |

|       |  |
|-------|--|
| 教科の目標 | <p>①子どもたちを見つめて</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、自然の事物・現象への興味・関心を高め、身の回りの自然現象を科学的に理解できるようにする。</li> <li>2、実験や観察を目的意識をもって行い、過程や結論について「考える時間」を作り、考えようとする姿勢を習慣付ける。</li> <li>3、提出物の評価を緻密に行うことで、学習意欲をもたせ、基礎・基本の定着をはかる。</li> </ol> <p>②理科を通じて</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、自然の事物・現象に関心を持ち、その規則性を発見する力を育てる。</li> <li>2、自然を調べる方法を学ぶことにより、科学的なものの見方や考え方を身に付ける。</li> <li>3、自ら課題を見つけ、自ら考え、自ら問題を解決する方法を養う。(生きる力の育成)</li> </ol> <p>③私たちの手だて</p> <p>生徒達が、授業に参加しているという実感を持てるような工夫をし、結果としてよくわかったと思える授業を創造していきたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、授業を工夫して、自然の現象や現象に興味をもたせる。</li> <li>2、考える、また考えたことを表現する(書く・発表するなど)時間を確保する。</li> <li>3、実物、具体物をできるだけ多く準備する。</li> <li>4、日常生活や、身近な題材に関連付ける。</li> <li>5、総合的に学習し、他面的、総合的な見方を育てる一助として、マルチメディア教材の活用をする。</li> </ol> |
| 評価の観点 | <p>知識・技能：自然事象や物理現象について正しく理解できる。観察や実験を目的をもって意欲的に行う。</p> <p>思考・判断・表現：データや事実にもとづき、科学的に考えようとする。自然事象や物理現象について正しく説明できる。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度：自然事象や物理現象に対して関心を持ち、考えようとする。</p>   |

|         | 配当月                | 単元                         | 学習内容   | 観点       | 学習目標(評価規準)  | 評価場面・方法             | 備考 |
|---------|--------------------|----------------------------|--|----------|---|---------------------|----|
| 理科<br>A | 4月                 | [物質]<br>化学変化と原子・分子<br>(30) | 単元導入(1)  | 知識・技能    | 化学変化を原子や分子のモデルと関連づけながら、物質の分解や原子・分子、2種類の物質が結びつく化学変化や化学変化における酸化と還元、化学変化と熱や質量の保存、質量変化の規則性についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。                             | 授業課題<br>提出物<br>定期考査 |    |
|         | 5月                 |                            | 1章 物質の成り立ち(9)  |          |   |                     |    |
|         | 6月                 |                            | 2章 物質の表し方(4)   | 思考・判断・表現 | 物質の成り立ちについて、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、原子や分子と関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における物質の変化を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。  |                     |    |
|         | 7月                 |                            | 3章 さまざまな化学変化(9)  |          |   |                     |    |
|         | 8月                 |                            | 4章 化学変化と物質の質量(6)   |          |   |                     |    |
| 9月      | 力だめし、学んだ後にリトライ！(1) | 主体的に学習に取り組む態度              | 物質の成り立ち、化学変化、化学変化と物質の質量に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 |          |   |                     |    |
| 理科<br>A | 10月                | [エネルギー]<br>電流とその利用<br>(33) | 単元導入(1)  | 知識・技能    | 電流、静電気、電流と磁界に関する事物・現象を日常生活や社会と関連づけながら、回路と電流・電圧、電流・電圧と電気抵抗、電気とそのエネルギー、静電気と電流の関係や電子、放射線、電流がつくる磁界、磁界中の電流が受ける力、電磁誘導と発電についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 | 授業課題<br>提出物<br>定期考査 |    |
|         | 11月                |                            | 1章 電流の性質(16)   |          |   |                     |    |
|         | 12月                |                            | 2章 電流の正体(7)  | 思考・判断・表現 | 電流、静電気や電子、電流と磁界に関する現象について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、電流と電圧、電流のはたらき、静電気や陰極線、電流と磁界の規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。   |                     |    |
|         | 1月                 |                            | 3章 電流と磁界(8)  |          |   |                     |    |
|         | 2月                 |                            | 力だめし、学んだ後にリトライ！(1)   |          |   |                     |    |
| 3月      |                    |                            |  |          |   |                     |    |

|         | 配当月                 | 単元                                | 学習内容                              | 観点                              | 学習目標(評価規準)   | 評価場面・方法             | 備考 |          |   |                     |  |
|---------|---------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------|--|---------------------|----|----------|---|---------------------|--|
| 理科<br>B | 4月                  | [生命]<br>生物の体のつくりと<br>はたらき<br>(34) | 単元導入 (1)<br><br>1章 生物の体をつくるもの (5) | 知識・技能                           | 生物・植物・動物それぞれの体のつくりとはたらきの関係性に着目しながら、細胞のつくりや植物の体のつくり、生命を維持のするはたらき、刺激と反応についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 | 授業課題<br>提出物<br>定期考査 |    |          |   |                     |  |
|         | 5月                  |                                   |                                   |                                 |  |                     |    |          |   |                     |  |
|         | 6月                  |                                   | 2章 植物の体のつくりとはたらき (9)              | 思考・判断・表現                        | 生物と細胞、植物・動物の体のつくりについて、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、生物・植物・動物それぞれの体のつくりとはたらきについての規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。                          |                     |    |          |   |                     |  |
|         | 7月                  |                                   | 3章 動物の体のつくりとはたらき (12)             |                                 |  |                     |    |          |   |                     |  |
|         | 8月                  |                                   | 4章 動物の行動のしくみ(6)                   | 主体的に学習に取り組む態度                   | 生物と細胞、植物・動物の体のつくりとはたらきに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。  |                     |    |          |   |                     |  |
|         | 9月                  |                                   | 力だめし、学んだ後にリトライ！ (1)               |                                 |  |                     |    |          |   |                     |  |
|         | 10月                 |                                   |                                   |                                 |  |                     |    |          |   |                     |  |
|         | 理科<br>B             |                                   | 11月                               | [地球]<br>地球の大気と<br>天気の変化<br>(26) | 単元導入 (1)   |                     |    | 知識・技能    | 気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、気象要素、気象観測、霧や雲の発生、前線の通過と天気の変化、日本の天気の特徴、大気の動きと海洋の影響、自然の恵みと気象災害についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 | 授業課題<br>提出物<br>定期考査 |  |
|         |                     |                                   | 12月                               |                                 | 1章 地球をとり巻く大気のようにす (4)  |                     |    |          |   |                     |  |
|         |                     |                                   | 1月                                |                                 | 2章 大気中の水の変化 (6)  |                     |    | 思考・判断・表現 | 気象観測、霧や雲の発生、前線の通過と天気の変化、日本の気象、自然の恵みと気象災害について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、天気の変化、霧や雲の発生、前線の通過と天気の変化、天気の変化や日本の気象についての規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。   |                     |  |
| 2月      |                     | 3章 天気の変化と大気の動き (5)                |                                   |                                 |  |                     |    |          |   |                     |  |
| 3月      |                     | 4章 大気の動きと日本の四季(9)                 | 主体的に学習に取り組む態度                     |                                 | 気象観測、霧や雲の発生、前線の通過と天気の変化、日本の気象、自然の恵みと気象災害に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。  |                     |    |          |   |                     |  |
|         | 力だめし、学んだ後にリトライ！ (1) |                                   |                                   |                                 |  |                     |    |          |   |                     |  |

|       |  |
|-------|--|
| 教科の目標 | 外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。 |
| 評価の観点 | 知識・技能  |
|       | 外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解している。                                    |
|       | 思考・判断・表現   |
|       | 外国語を用いて、その場面に応じて、話す・聞く・読む・書くなどの言語活動を積極的に行い、自分の考えや思いなどを表現し合っている。                              |
|       | 主体的に学びに向かう態度   |
|       | 外国語に関心を持ち、自分自身の目標達成に向けて積極的に取り組んでいる。  |
| 評価資料  | 定期テスト、整理テスト、授業プリント、提出物、授業内テスト、授業内発表  |

| 学習月 | 単元・教材名等                            | 活動目標・到達目標   | 言語の使用場面      | 言語の働き                  | 主な言語材料  |
|-----|------------------------------------|---|--------------|------------------------|---|
| 4月  | Unit 1<br>Hajin's Diary            | [R]日記から、出来事や感想などを読み取ることができる。<br>[W]日記に、出来事や感想などを書くことができる。               | 学校           | 説明, 質問, 依頼             | I went ~. / How was ~?<br>I was studying ~.<br>When I was ~.          |
| 5月  | Active Grammar 1                   | 過去の出来事や状況などを伝える言い方を整理しよう  |              |                        | 動詞の過去形 / 過去進行形  |
|     | Unit 2<br>Basketball<br>Tournament | [L]インタビューから、好きなことなどを聞き取ることができる。<br>[SI]好きなことやしたいことなどについて、たずね合うことができる。   | 学校           | 褒める, 説明, 意見, 依頼        | I don't like playing ~.<br>Hajin wants to ~.<br>I think (that) ~.     |
| 6月  | Active Grammar 2                   | ~することの言い方を整理しよう   |              |                        | 動名詞 / 不定詞(名詞的用法)  |
|     | Daily Life 1 電話                    | [SI]電話で、何かを頼んだり応じたりすることができる。  | 電話           | 話し掛ける, 依頼, 承諾          | May I ~?<br>Can you ~?  |
|     | Unit 3<br>Plans for the<br>Summer  | [R]メールから、予定や希望などを読み取ることができる。<br>[W]予定や希望などを伝えるメールを書くことができる。             | 家庭,<br>電子メール | 聞き直す, 歓迎, 報告, 申し出る, 質問 | I'm going to ~.<br>It will ~.<br>If you are ~.                        |
|     | Active Grammar 3                   | 未来のことを伝える言い方を整理しよう  |              |                        | be going to / will  |
| 7月  | Daily Life 2<br>アナウンス              | [L]アナウンスから、必要な情報を聞き取ることができる。  | 旅行           | 説明                     | 既習の表現   |
|     | Let's Read 1<br>Sukh's WhiteHorse  | [R]物語から、出来事の経過を読み取ることができる。  |              | 説明, 描写                 | 既習の表現   |
|     | World Tour 1<br>いろいろな単位            | [L]日本とは異なる単位について知ろう   |              | 説明, 質問                 | 既習の表現   |
|     | You Can Do It! 1                   | [R][SP]わが町観光プランをおすすめしよう   |              |                        | 既習の表現   |
| 9月  | Daily Life 3<br>レストラン              | [SI]飲食店で、注文したり何かを依頼したりすることができる。   | 食事           | 申し出る, おすすめ, 依頼         | Shall I ~?<br>Will you ~?   |
|     | Unit 4<br>Tour in New York<br>City | [R]ガイドブックから、施設やできることなどを読み取ることができる。<br>[SP]施設やできることなどを言って、場所を紹介することができる。 | 旅行           | 相づち, 歓迎, 説明, 意見, 質問    | There is ~. / There are ~.<br>Show me the leaflet.<br>a place to stay |
|     | Daily Life 4<br>道案内                | [SI]行き方をたずねたり教えたりする, 道案内のやり取りができる。                                      | 道案内          | 話し掛ける, 依頼する            | Could you ~?<br>How long ~?   |
|     | Active Grammar 4                   | 動詞の後ろにくる言葉を整理しよう  |              |                        | 目的語   |

|     |   |  |           |                 |   |
|-----|---|--|-----------|-----------------|---|
| 10月 | Unit 5<br>Earthquake Drill                          | [L]説明から、どんなものかを聞き取ることができる。<br>[SI]防災バッグに入れるものを決める、話し合いをすることができる。             | 学校        | 相づち、説明、意見、命令    | have to / don't have to<br>must / must not<br>should / should not |
|     | Daily Life 5<br>イベントのお知らせ                           | [R]複数の掲示物から、自分が必要とする情報を読み取ることができる。   | 地域の<br>行事 | 説明              | 既習の表現   |
|     | Daily Life 6<br>体調不良                                | [SI]体調をたずねたり、助言をしたりするやり取りができる。   | 学校        | 話し掛ける、意見        | I think you should ～.   |
| 11月 | Active Grammar 5                                    | 話し手の考えを動詞に加える言葉を整理しよう  |           |                 | 助動詞   |
|     | Unit 6<br>Work Experience                           | [R]レポートから、職場で体験したことや感想などを読み取ることができる。<br>[W]職場で体験したことや感想などを伝える、レポートを書くことができる。 | 学校        | 相づち、報告、意見、質問    | He's here to help you.<br>～ because ...<br>I'm glad to hear ～.    |
|     | Active Grammar 6                                    | to+動詞の原形が表すいろいろな意味を整理しよう   |           |                 | 不定詞〈形容詞的用法・副詞的用法〉   |
|     | Active Grammar 7                                    | 文と文をつなぐ言葉を整理しよう  |           |                 | 接続詞   |
| 12月 | Let's Read 2<br>Meet Hanyu Yuzuru                   | [R]インタビュー記事から、人物の経歴や思いを読み取ることができる。   |           | 説明、質問           | 既習の表現   |
|     | World Tour 2<br>世界を舞台に働く人                           | [R]世界で活躍する人たちについて知ろう   |           | 説明              | 既習の表現   |
|     | You Can Do It! 2                                    | [R][SI]職業診断のチャートを作ろう   |           |                 | 既習の表現   |
| 1月  | Unit 7<br>Amazing Australia                         | [R]観光紹介の記事から、名所や特色などを読み取ることができる。<br>[W]町の名所や名物などを伝える、紹介文を書くことができる。           | 学校        | 相づち、説明、発表、意見、質問 | 比較級、最上級、as ～<br>as ...  |
| 2月  | Daily Life 7<br>観光案内                                | [L]音声案内から、おおまかな情報を聞き取ることができる。<br>[R]観光案内情報から、必要な情報を読み取ることができる。               |           | 説明              | 既習の表現   |
|     | Active Grammar 8                                    | 何かを比べて説明する言い方を整理しよう  |           |                 | 比較表現  |
|     | Unit 8<br>Staging a Musical                         | [R]学級新聞から、作品紹介のおおまかな内容を読み取ることができる。[SP]作者やおおまかな内容などを言って、好きな作品を紹介することができる。     | 学校        | 相づち、苦情、説明、意見、依頼 | were written by ～<br>make me nervous<br>want you to do ～          |
|     | Active Grammar 9                                    | 何かをされていると説明する言い方を整理しよう   |           |                 | 受け身の文   |
| 3月  | Daily Life 8<br>音声ガイド                               | [L]音声ガイドから、絵画のおおまかな情報を聞き取ることができる。  |           | 描写              | 既習の表現   |
|     | Let's Read 3<br>Emojis — From<br>Japan to the World | [R]説明文から、絵文字の概要を読み取ることができる。  |           | 説明              | 既習の表現   |
|     | World Tour 3<br>世界遺産めぐり                             | [L]いろいろな国の世界遺産について知ろう  |           | 説明              | 既習の表現   |
|     | You Can Do It! 3                                    | [L][SP]日本のおもしろいものを紹介しよう。   |           |                 | 既習の表現   |
|     | Let's Read More 1<br>The Statue of<br>Liberty       | [R]紹介文から、自由の女神像の歴史や見どころを読み取ることができる。  |           |                 | 既習の表現   |
|     | Let's Read More 2<br>Aboriginal Art                 | [R]紹介文から、アボリジナル・アートの歴史や特徴を読み取ることができる。  |           |                 | 既習の表現   |
| 帯   | Story Retelling                                     | [SP]ストーリーについて、簡単な語句や文を使い、その場で話すことができる。                                       |           | 説明、描写           | 既習の表現   |
| 帯   | Let's Talk!   | [SI]自分や相手のことについて、その場でやり取りすることができる。   |           | 説明、質問           | 既習の表現   |
| 帯   | Active Words  | 自分が言いたいことを伝えるための語彙を探して活用しよう  |           |                 | カテゴリー別語彙  |



|       |  |
|-------|--|
| 教科の目標 | <p>(1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。</p> <p>(3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。</p> |
| 評価の観点 | <p>①知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。</li> <li>・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。</li> </ul>   |
|       | <p>②思考・判断・表現</p> <p>音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい音楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。</p>   |
|       | <p>③主体的に音楽に取り組む態度</p> <p>音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>  |
| 評価資料  | 実技テスト(歌唱、器楽)、ワークシート(歌唱、器楽、創作、鑑賞)、学習カード、提出物、定期考査、授業中の活動の観察  |

| 時期                   | 題材名                          | 学習内容 | 観点  | 評価規準   | 評価場面・方法  |
|----------------------|------------------------------|------|-----|--|--|
| 4月<br>5月<br>6月<br>7月 | パートの役割を理解して、歌唱表現を工夫しよう       | 歌唱   | ①②③ | <p><b>① 知識・技能</b></p> <p>&lt;歌唱&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。</li> <li>・声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。</li> <li>・創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている。</li> <li>・創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付けている。</li> </ul> <p>&lt;器楽&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。</li> <li>・楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解している。</li> <li>・創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身に付けている。</li> <li>・創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付けている。</li> </ul> <p>&lt;創作&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音階や言葉などの特徴及び音楽のつながり方の特徴について理解している。</li> <li>・音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構造上の特徴について理解している。</li> <li>・創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付けている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・観察</li> <li>・発言内容</li> <li>・ワークシート</li> <li>・演奏の聴取</li> <li>・実技テスト</li> <li>・定期考査</li> </ul> |
|                      | 曲想と歌詞の内容との関わりを理解して、その魅力を味わおう | 歌唱   | ①②③ |  |  |
|                      | 曲想と音楽の構造との関わりを理解して、その魅力を味わおう | 鑑賞   | ①②③ |  |  |
|                      | リコーダー演奏                      | 器楽   | ①②③ |  |  |

| 時期                            | 題 材 名   | 学習内容 | 観点  | 評価規準   | 評価場面・方法  |
|-------------------------------|---|------|-----|--|--|
| 8月<br>9月<br>10月<br>11月<br>12月 | 音の重なり方や反復、変化を理解して、創作表現を工夫しよう                        | 創作   | ①②③ | <p>&lt;鑑賞&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。</li> <li>・音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解している。</li> <li>・我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。</li> </ul> <p><b>② 思考・判断・表現</b></p> <p>&lt;歌唱・器楽・創作&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱・器楽・創作表現を工夫している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・観察</li> <li>・発言内容</li> <li>・ワークシート</li> <li>・演奏の聴取</li> <li>・実技テスト</li> <li>・定期考査</li> </ul> |
|                               | 曲想と音楽の構造との関わりを理解して歌唱表現を工夫し、生活や社会の中の音楽の意味や役割について考えよう | 歌唱   | ①②③ |  |  |
|                               | オペラに親しみ、その魅力を味わおう                                   | 鑑賞   | ①②③ |  |  |
|                               | 文楽や歌舞伎に親しみ、その魅力を味わおう                                | 鑑賞   | ①②③ | <p>&lt;鑑賞&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</li> </ul>   |  |
|                               | 箏の魅力を味わおう   | 器楽   | ①②③ |  |  |
|                               | リコーダー・ギター演奏   | 器楽   | ①②③ |  |  |
| 1月<br>2月<br>3月                | 世界の様々な音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう                          | 鑑賞   | ①②③ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・(上記下線部と同様)、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</li> <li>・(上記下線部と同様)、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</li> </ul>  |  |
|                               | 言葉の抑揚を生かして、創作表現を工夫しよう                               | 創作   | ①②③ |  |  |
|                               | 仲間とともに、表情豊かに合唱しよう                                   | 歌唱   | ①②③ | <p><b>③ 主体的に学習に取り組む態度</b></p> <p>&lt;歌唱・器楽・創作・鑑賞&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱・器楽・創作・鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul>  |  |
|                               | ギター演奏   | 器楽   | ①②③ |  |  |

|       |   |
|-------|---|
| 教科の目標 | (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。<br>(2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。<br>(3) 主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。 |
| 評価の観点 | ① 対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表している。<br>② 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。<br>③ 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。                                      |
| 評価資料  | 授業の準備、表現や鑑賞の活動の様子、ワークシート、作品、振り返り用紙の記述内容、定期考査  |

| 時期                       | 単元   | 学習内容            | 観点  | 学習目標（評価基準）   | 評価場面・方法                                      |
|--------------------------|------|-----------------|-----|--|--|
| 4 月<br>5 月<br>6 月<br>9 月 | 絵画   | A 表現<br>(1)ア(2) | ①②③ | <ul style="list-style-type: none"> <li>対象や事象を深く見詰め感じ取ったことや考えたこと、夢、想像や感情などの心の世界などを基に主題を生み出し、単純化や省略、強調、材料の組合せなどを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ること。</li> <li>材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表すこと。</li> <li>材料や用具、表現方法の特性などから制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって表すこと。</li> </ul>   | 授業の準備<br>表現や鑑賞の活動の様子<br>ワークシート<br>作品<br>定期考査 |
| 10 月<br>11 月<br>12 月     | デザイン | A 表現<br>(1)イ(2) |     | <ul style="list-style-type: none"> <li>伝える目的や条件などを基に、伝える相手や内容などから主題を生み出し、分かりやすさと美しさなどとの調和を考え、表現の構想を練ること。</li> <li>材料や用具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表すこと。</li> <li>材料や用具の特性などから制作の順序などを考えながら、見通しをもって表すこと。</li> </ul>   | 授業の準備<br>表現や鑑賞の活動の様子<br>ワークシート<br>作品<br>定期考査 |
| 1 月<br>2 月<br>3 月        | 木彫   | A 表現<br>(1)ア(2) |     | <ul style="list-style-type: none"> <li>対象や事象を深く見詰め感じ取ったことや考えたこと、夢、想像や感情などの心の世界などを基に主題を生み出し、単純化や省略、強調、材料の組合せなどを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ること。</li> <li>材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表すこと。</li> <li>材料や用具、表現方法の特性などから制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって表すこと。</li> </ul>   | 作品<br>定期考査                                   |
| 備考<br>適宜                 | 鑑賞   | B 鑑賞<br>(1)アイ   | ①③  | <ul style="list-style-type: none"> <li>造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めること。</li> <li>目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めること。</li> <li>身近な環境の中に見られる造形的な美しさなどを感じ取り、安らぎや自然との共生などの視点から生活や社会を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなどして、見方や感じ方を深めること。</li> <li>日本の美術作品や受け継がれてきた表現の特質などから、伝統や文化のよさや美しさを感じ取り愛情を深めるとともに、諸外国の美術や文化との相違点や共通点に気付き、美術を通した国際理解や美術文化の継承と創造について考えるなどして、見方や感じ方を深めること。</li> </ul> | ワークシート<br>定期考査                               |

2024年度 2年生 年間指導計画 【保健体育】

|              |   |  |  |
|--------------|---|--|--|
| <p>教科の目標</p> | <p>○体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成することをめざす。</p> <p><b>【体育分野】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。</li> <li>・運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。</li> <li>・運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。</li> </ul> <p><b>【保健分野】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。</li> <li>・健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。</li> <li>・生涯を通じて心身の健康の保持増進をめざし、明るく豊かな生活を営む態度を養う。</li> </ul> |  |  |
| <p>評価の観点</p> | <p>1. <b>【知識・技能】</b></p> <p>各運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、伝統的な考え方、各領域に関連して高まる体力、健康・安全の留意点についての具体的な方法及び運動やスポーツの多様性、運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方についての考え方を理解しているとともに、各領域の運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。</p>   | <p>2. <b>【思考・判断・表現】</b></p> <p>運動を豊かに実践するための自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。</p> | <p>3. <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b></p> <p>運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、公正、協力、責任、共生などに対する意欲をもち、健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。</p> |
| <p>評価資料</p>  | <p>○授業に取り組む姿勢（欠席、遅刻、授業態度、忘れ物等） ○提出物 ○実技テスト ○定期考査</p>  |  |  |

| 時期          | 単元  | 学習内容  | 観点          | 学習目標（評価規準）  | 評価場面・方法   |
|-------------|---|---|-------------|---|---|
| 4<br>5      | <p>集団行動<br/>(男女)</p> <p>体づくり運動<br/>(男女)</p>             | <p>基本動作<br/>ラジオ体操第一<br/><br/>スポーツテスト</p>  | 1<br>2<br>3 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・号令に応じて自らで判断し、機敏かつ的確に行動できるようにする。</li> <li>・決まりを理解し、能率よく行動できるようにする。</li> <li>・自らの運動能力を把握し、普段の日常生活で生かせるようにする。</li> <li>・積極的に参加し、体力の向上や記録の更新をめざす。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の参加</li> <li>・授業態度</li> <li>・忘れ物</li> <li>・提出物</li> <li>・実技テスト</li> </ul> |
| 5<br>6      | <p>陸上競技<br/>[走り高跳び]<br/>(男子)</p> <p>バレーボール<br/>(女子)</p> | <p>跳躍種目<br/>はさみ跳び、ベリー<br/>ロールなどの技術の<br/>習得</p> <p>オーバーハンドパス、アンダー<br/>ハンドパス、サーブな<br/>どの技術の習得<br/>ミニゲーム</p> |             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の目標を設定し、記録の向上に挑戦する態度を養う。</li> <li>・リズムカルな助走から力強い踏み切りに移ることができる。</li> <li>・跳躍の頂点とバーの位置が合うように、自己に合った踏切位置で踏み切ることができる。</li> <li>・パスやサーブなどの基本的な技術を習得し、ゲームに生かすことができる。</li> <li>・技術の名称や行い方を理解し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わうことができるようにする。</li> </ul>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> </ul>   |
| 6<br>7<br>8 | <p>水泳<br/>(男女)</p>                                      | <p>クロール<br/>平泳ぎ</p>   |             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・手と足の動き、呼吸のバランスなどの基本的な泳ぎ方を身につけ、クロールは速く泳ぎ、平泳ぎは長く泳ぐことができる。</li> <li>・自分の目標タイムを意識して泳ぐことができる。</li> </ul>   |   |
| 9           | <p>サッカー<br/>(男子)</p> <p>器械運動<br/>[跳び箱](女子)</p>          | <p>ドリブル、トラップ、<br/>リフティング、キッ<br/>クなどの技術の習得<br/>ゲーム</p> <p>開脚跳び、かかえ込<br/>み跳び、台上前転な<br/>どの技の習得</p>           |             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・パスやドリブル、シュートなどの基本的な技術を習得し、ゲームに生かすことができる。</li> <li>・安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによって、ゴール前への侵入などから攻防を展開することができる。</li> <li>・技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。</li> <li>・繰り返し系や回転系の基本的な技を滑らかに行うこと、着手位置や姿勢などの条件を変えた技や発展技を行うことができる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の参加</li> </ul>  |

|    |                          |                              |   |  |  |
|----|--------------------------|------------------------------|---|--|--|
| 10 | 柔道<br>(男子)               | 礼法、受け身、固め技などの技の習得            | 1<br>2<br>3   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・武道の特性や成り立ち、技の名称や行い方について理解している。</li> <li>・それぞれの受け身、固め技の方法を正しく理解し、相手・自分ともに安全に取り組めるようにする。</li> <li>・相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとする態度を身につける。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・忘れ物</li> <li>・提出物</li> <li>・実技テスト</li> <li>・定期考査</li> </ul> |
|    | 陸上競技<br>[走り高跳び]<br>(女子)  | 跳躍種目<br>はさみ跳び、ベリーロールなどの技術の習得 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の目標を設定し、記録の向上に挑戦する態度を養う。</li> <li>・リズムカルな助走から力強い踏み切りに移ることができる。</li> <li>・跳躍の頂点とバーの位置が合うように、自己に合った踏切位置で踏み切ることができる。</li> </ul>  |  |  |
| 11 | 器械運動<br>[跳び箱](男子)        | 開脚跳び、かかえ込み跳び、台上前転などの技の習得     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。</li> <li>・切り返し系や回転系の基本的な技を滑らかに行うこと、着手位置や姿勢などの条件を変えた技や発展技を行うことができる。</li> </ul>  |  |  |
| 12 | 陸上競技<br>[中・長距離走]<br>(男女) | 1500mの測定                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己に合ったピッチとストライドで、上下動の少ない動きで走り、一定のペースで走ることができる。</li> <li>・自己の目標を設定し、記録の向上に挑戦する態度を養う。</li> </ul>  |  |  |
| 23 | ダンス<br>(男女)              | グループによる創作ダンス                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ダンスに積極的に取り組むとともに、仲間と協力してダンスを創作し、踊ることができる。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の参加</li> <li>・授業態度</li> <li>・忘れ物</li> </ul>  |  |
| 通年 | 体育理論                     | スポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方について理解している。</li> <li>・運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方について、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断しているとともに、他者に伝えている。</li> <li>・運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方についての学習に積極的に取り組もうとしている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の参加</li> <li>・授業態度</li> <li>・忘れ物</li> <li>・提出物</li> <li>・定期考査</li> </ul>   |  |
| 通年 | 保健                       | 健康な生活と病気の予防②<br><br>傷害の防止    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康な生活と疾病の予防について理解している。</li> <li>・健康な生活と疾病の予防について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。</li> <li>・健康な生活と疾病の予防についての学習に自主的に取り組もうとしている。</li> </ul>   |  |  |
|    |                          |                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・傷害の防止について理解しているとともに、応急手当についての技能を身につけている。</li> <li>・傷害の防止について、危険の予測やその回避の方法を考えているとともに、それらを表現している。</li> <li>・傷害の防止についての学習に自主的に取り組もうとしている。</li> </ul>  |  |  |

2024年度 2年生 年間指導計画 【技術】

|       |   |
|-------|---|
| 教科の目標 | 技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育成することを目指す。 |
| 評価の観点 | 知識・技能<br>生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換、情報等の技術についての基礎的な理解と技能及び、技術と生活や社会との関わり<br>の理解。 |
|       | 思考・判断・表現<br>生活や社会の中から技術に関わる問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力。      |
|       | 主体的に学びに向かう態度<br>よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度。                    |

| 時期                            | 単元                       | 学習内容  | 学習目標（評価規準）  | 評価   |
|-------------------------------|--------------------------|---|---|--|
| 4月                            | エネルギー変換の技術の原理・法則と仕組みについて | <ul style="list-style-type: none"> <li>エネルギー変換の技術とは</li> <li>発電の仕組みと特徴</li> <li>電気を供給する仕組み</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>エネルギー変換・エネルギー変換について理解する。</li> <li>発電の仕組みと特徴について理解する。</li> <li>電源の種類と特徴や送電・配電の仕組みを理解する。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>取り組む姿勢</li> <li>授業ファイル</li> <li>授業プリント</li> <li>定期考査</li> <li>提出物</li> </ul>                              |
| 5月                            |                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>電気回路について</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>電気回路の仕組みについて理解する</li> </ul>  |  |
| 6月<br>7月                      |                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>運動エネルギーへの変換と利用</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>機械が運動を伝える仕組みについて理解する。</li> <li>運動の種類とエネルギー変換について理解する。</li> </ul>   |  |
| 8月<br>9月<br>10月<br>11月<br>12月 | エネルギー変換の技術による問題解決        | <ul style="list-style-type: none"> <li>電気機器を安全に使用する技術のための技術</li> <li>回転運動を伝える仕組み</li> <li>ラジオ製作</li> <li>機械の共通部品と保守点検の大切さ</li> </ul>                | <ul style="list-style-type: none"> <li>電気機器の安全な使い方について理解する。</li> <li>電気による事故を防ぐ方法について考えることができる。</li> <li>製作品の設計や製作の手順を知り、設計要素を検討し、エネルギー変換を利用した製作品を設計することができる。</li> <li>部品を適切に調節しながら組み立て、製作品を製作できる。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>取り組む姿勢</li> <li>授業ファイル</li> <li>授業プリント</li> <li>夏休みの宿題</li> <li>定期考査</li> <li>実習物</li> <li>提出物</li> </ul> |
| 1月<br>2月<br>3月                | 生物育成の技術                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>生物を育てる技術とは</li> <li>作物の育成環境を調節する技術</li> <li>動物・水産生物を育てる技術を知ろう</li> <li>生物の育成計画を立てよう</li> <li>基礎技能</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>生物を育てる技術の目的について理解する。</li> <li>作物の育成環境を調節する技術について理解する。</li> <li>動物を健康に育てるための技術について理解する。</li> <li>水産生物を安定的に供給するための養殖の技術について理解する。</li> <li>育成する作物にて適した環境条件を考えることができる。</li> <li>育成する目的に合わせて、栽培計画を立てることができる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>取り組む姿勢</li> <li>授業ファイル</li> <li>授業プリント</li> <li>定期考査</li> <li>観察記録</li> <li>提出物</li> </ul>                |

|       |  |
|-------|--|
| 教科の目標 | 生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成することを目指す。                             |
| 評価の観点 | (知識・技能)<br>家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。                      |
|       | (思考・判断・表現)<br>これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から課題を見いだして課題を設定し解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 |
|       | (主体的に学習に取り組む態度)<br>家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。                 |
| 評価資料  | 授業に取り組む態度、実習物、作品、提出物、レポート、授業プリント、振り返りシート、定期テスト   |

| 時期                       | 単元   | 学習内容  | 観点                                   | 学習目標（評価規準）  | 評価方法   |
|--------------------------|--|---|--------------------------------------|---|--|
| 4<br>5<br>6<br>7         | B 衣食住の生活<br>1. 食事の役割と食習慣<br>2. 中学生に必要な栄養を満たす食事<br>6. 献立づくり | ①食事の役割<br>②健康によい食習慣<br>①中学生の発達と必要な栄養<br>②栄養素のはたらきと6つの基礎食品群<br>① 献立づくり   | 主体的に学習に取り組む態度、<br>思考・判断・表現、<br>知識・技能 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・食事の役割について理解し、毎日の食事に関心をもつ。</li> <li>・健康に良い食事について学び、規則正しく食事をとることの重要性を理解する。</li> <li>・中学生の時期の身体的特徴を理解し、中学生に必要な栄養の特徴がわかる。</li> <li>・食品は栄養的特質により食品群に分類されることを理解する。</li> <li>・中学生が1日にとりたい食品と分量を知る。</li> <li>・1回の食事を目で見ても栄養のバランスがとれているか判断できる。</li> <li>・持続可能な食生活を送るために食生活を工夫することができる。</li> </ul>  | 授業に取り組む態度、<br>実習物、<br>作品、<br>レポート、<br>授業プリント、<br>振り返りシート、<br>提出物、<br>定期テスト |
| 8<br>9<br>10<br>11<br>12 | 3. さまざまな食品とその選択<br>7. 持続可能な食生活<br>4. 日常食の調理<br>5. 地域の食文化   | ①生鮮食品の選択と保存<br>②加工食品の選択<br>③食品の安全と情報<br>①持続可能な食生活をめざして<br>①調理の計画<br>②おいしさと調理<br>③ますます好きになる肉の調理<br>④こんなにおいしい魚の調理<br>⑤好きになる野菜の調理<br>①地域の食文化<br>②日本各地の郷土料理 |                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生鮮食品の特徴がわかる。</li> <li>・目的に応じて生鮮食品を選択・保存できる。</li> <li>・加工食品の特徴がわかる。</li> <li>・目的に応じて加工食品を選択できる。</li> <li>・食品を選択するとき、食品の安全や情報に関心をもって選択できる。</li> <li>・持続可能な食生活を送るために食生活を工夫することができる。</li> <li>・調理の流れと手順がわかり、計画を立てることができる。</li> <li>・おいしさと調理の関係や調理における衛生と安全を理解し実践できる。</li> <li>・肉の特徴や調理上の取り扱い方がわかり、肉を調理することができる。</li> <li>・魚の特徴や調理上の取り扱い方がわかり、野菜を調理することができる。</li> <li>・野菜の特徴や調理上の取り扱い方がわかり、野菜を調理することができる。</li> <li>・地域で生産される食材を知り、それを使う意義と和食の調理を理解する。</li> </ul> |  |

|                      |   |   |   |  |
|----------------------|---|---|---|--|
| <p>1<br/>2<br/>3</p> | <p><b>B 衣食住の生活</b></p> <p>1. 住まいのはたらきとこちよさ</p> <p>2. 安全な住まいで安心な暮らし</p> <p>3. 持続可能な住生活</p> | <p>① 住まいのはたらき</p> <p>② 住まいの空間</p><br><p>① 家庭内事故への備え</p> <p>② 災害への備え</p><br><p>① 持続可能な住生活をめざして</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 住まいの基本的な役割について理解する。</li> <li>・ 日本の伝統的な住まいの特徴を知る。</li> <li>・ 住まいの空間の使い方について理解する。</li> <li>・ さまざまな生活によって、住まい方の工夫があることを理解する。</li> <br/> <li>・ 家庭内の事故の種類と、その原因を知る。</li> <li>・ 幼児や高齢者の安全を考えた住まい方について工夫する。</li> <li>・ 地域のさまざまな災害に備えて、室内を安全に整備する必要とその方法について理解する。</li> <br/> <li>・ 持続可能な社会の実現に向けて、さまざまな住まいと住まい方の工夫があることを知る。</li> </ul> |  |
|----------------------|---|---|---|--|